



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 南陽

コード番号 7417 URL <http://www.nanvo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,084	△6.5	704	58.0	747	56.7	341	113.6
24年3月期第3四半期	21,475	△0.1	446	△29.8	477	△24.0	160	△54.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 362百万円 (413.9%) 24年3月期第3四半期 70百万円 (△77.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	53.67	—
24年3月期第3四半期	25.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	26,921	10,369	38.5
24年3月期	25,795	10,130	39.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,369百万円 24年3月期 10,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	1.2	750	4.8	750	1.7	450	43.2	70.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	6,615,070 株	24年3月期	6,615,070 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	246,971 株	24年3月期	246,941 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	6,368,112 株	24年3月期3Q	6,368,157 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の本格化等から国内需要は底堅く推移したものの、欧州経済の悪化に加え、新興国経済も減速傾向となる中、日中関係悪化の影響もあり輸出が減少するなど、依然として不安定な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、売上高は20,084百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は704百万円（前年同期比58.0%増）、経常利益は747百万円（前年同期比56.7%増）、四半期純利益は341百万円（前年同期比113.6%増）となりました

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、東北地区においては復興需要が本格化し始めたものの、当社の地盤である九州地区においては設備投資抑制の動きが続く中、顧客ニーズへの対応が可能な中古建設機械の仕入の強化、レンタル部門の販売の強化に努めてまいりました。しかしながら、採算性を重視して取引の一部を見直したことから、売上高は8,025百万円（前年同期比15.1%減）となりました。一方で、これらの施策により採算性が向上したことに加え、債権管理の強化に努めたこと等により貸倒引当金繰入額が減少した結果、セグメント利益は359百万円（前年同期比107.1%増）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、景気の先行き不安や日中関係悪化により、設備投資に慎重な動きが見られる中、スマートフォンや省エネルギー分野を始めとした開発案件の受注獲得に努めるとともに、継続して生産部品・消耗部品の販売強化に努めてまいりました。また、連結子会社の採算が改善した結果、売上高は11,806百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は611百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、公共工事、民間工事ともに低迷を続ける中、中小規模の公共工事の受注獲得に努めるとともに、民間への提案強化にも努めてまいりました。しかしながら、工事減少の影響を受けたことに加え、新たに開発中の原石山開発費の償却負担が重く、売上高は253百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ1,126百万円増加（4.4%増）し、26,921百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が259百万円減少したものの、商品及び製品が81百万円、仕掛品が72百万円、貸与資産が986百万円、有形固定資産のその他が104百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ886百万円増加（5.7%増）し、16,551百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,344百万円、リース債務が186百万円それぞれ増加したものの、短期借入金が98百万円、賞与引当金が72百万円、割賦利益繰延が82百万円、流動負債のその他が255百万円、長期借入金が105百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ239百万円増加（2.4%増）し、10,369百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が219百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は38.5%と前連結会計年度末に比べ0.8ポイント下落いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成24年5月9日付の「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,472,019	2,212,795
受取手形及び売掛金	12,669,627	12,707,402
商品及び製品	1,206,355	1,288,215
仕掛品	—	72,273
貯蔵品	2,020	2,239
その他	1,361,057	1,428,861
貸倒引当金	△720,911	△653,219
流動資産合計	16,990,169	17,058,569
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	4,745,791	5,732,644
その他(純額)	2,177,086	2,281,303
有形固定資産合計	6,922,877	8,013,948
無形固定資産		
投資その他の資産	51,986	51,341
投資有価証券	955,079	904,275
その他	1,135,912	1,127,917
貸倒引当金	△303,611	△288,908
投資その他の資産合計	1,787,380	1,743,284
固定資産合計	8,762,245	9,808,574
繰延資産		
開発費	42,636	54,064
繰延資産合計	42,636	54,064
資産合計	25,795,051	26,921,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,715,636	8,059,756
短期借入金	3,195,277	3,096,327
1年内返済予定の長期借入金	160,000	160,000
リース債務	1,576,829	1,763,258
未払法人税等	245,429	186,458
賞与引当金	157,864	85,670
割賦利益繰延	1,042,846	960,376
その他	1,103,279	847,692
流動負債合計	14,197,163	15,159,540
固定負債		
長期借入金	635,000	530,000
退職給付引当金	254,771	260,919
役員退職慰労引当金	94,650	102,680
その他の引当金	352,060	354,587
その他	131,247	143,755
固定負債合計	1,467,730	1,391,943
負債合計	15,664,894	16,551,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181,875	1,181,875
資本剰余金	1,015,305	1,015,305
利益剰余金	8,121,610	8,340,724
自己株式	△230,945	△230,957
株主資本合計	10,087,845	10,306,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,615	138,460
為替換算調整勘定	△91,302	△75,683
その他の包括利益累計額合計	42,312	62,777
純資産合計	10,130,157	10,369,724
負債純資産合計	25,795,051	26,921,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	21,475,129	20,084,895
売上原価	18,490,566	17,136,064
差引売上総利益	2,984,563	2,948,831
割賦販売未実現利益戻入額	342,267	325,914
割賦販売未実現利益繰入額	291,412	240,998
売上総利益	3,035,417	3,033,747
販売費及び一般管理費	2,589,312	2,328,938
営業利益	446,105	704,808
営業外収益		
受取利息	15,621	11,965
受取配当金	13,181	11,613
持分法による投資利益	18,922	9,308
貸倒引当金戻入額	22,518	26,198
その他	49,483	55,330
営業外収益合計	119,727	114,416
営業外費用		
支払利息	73,390	63,254
その他	15,409	8,277
営業外費用合計	88,799	71,531
経常利益	477,033	747,693
特別利益		
固定資産売却益	103,080	8
特別利益合計	103,080	8
特別損失		
固定資産売却損	61,195	—
固定資産除却損	12,946	19,547
投資有価証券売却損	—	7,297
投資有価証券評価損	394	50,376
特別損失合計	74,536	77,221
税金等調整前四半期純利益	505,577	670,481
法人税、住民税及び事業税	243,944	375,175
法人税等調整額	101,619	△46,485
法人税等合計	345,563	328,689
少数株主損益調整前四半期純利益	160,013	341,791
四半期純利益	160,013	341,791

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,013	341,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,077	3,861
為替換算調整勘定	△21,020	7,181
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,422	9,421
その他の包括利益合計	△89,520	20,464
四半期包括利益	70,493	362,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,493	362,256

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,450,483	11,754,012	270,633	21,475,129	—	21,475,129
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,559	6,489	—	52,049	△52,049	—
計	9,496,043	11,760,502	270,633	21,527,178	△52,049	21,475,129
セグメント利益又は損失 (△)	173,730	552,270	△7,097	718,904	△272,798	446,105

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額272,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,025,185	11,806,249	253,460	20,084,895	—	20,084,895
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,081	31,984	—	65,065	△65,065	—
計	8,058,266	11,838,234	253,460	20,149,960	△65,065	20,084,895
セグメント利益又は損失 (△)	359,847	611,724	△14,553	957,018	△252,209	704,808

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額252,209千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。